

2025年3月27日
四電エンジニアリング株式会社
青木あすなろ建設株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社脱炭素化支援機構
JR東日本エネルギー開発株式会社
WWB株式会社
株式会社中部プラントサービス
株式会社三菱総合研究所
株式会社GSユアサ

系統用蓄電池事業の開始に向け北海道札幌蓄電合同会社を設立、
安全祈願祭を開催
～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～

四電エンジニアリング株式会社（本社：香川県高松市、取締役社長：黒川肇一）、青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻井靖）、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢陽一）、株式会社脱炭素化支援機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：田吉禎彦）、JR東日本エネルギー開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大口豊）、WWB株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：笹生拓郎）、株式会社中部プラントサービス（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：栗山章）、株式会社三菱総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藪田健二）および株式会社GSユアサ（本社：京都府京都市、代表取締役社長：阿部貴志）は共同で「北海道札幌蓄電合同会社」を設立し、北海道札幌市において系統用蓄電池事業（以下 本事業）に取り組んでまいります。

本事業は、令和6年度再生可能エネルギー導入拡大・系統用蓄電池等電力貯蔵システム導入支援事業費補助金の交付決定を受けて行うものです。

再生可能エネルギーは天候に左右され発電量が不安定なため、導入拡大に向けて余剰となる再生可能エネルギーの有効活用および出力変動調整力の確保が課題となっています。系統用蓄電システムは、余剰電力の有効活用および需給調整力を供給することにより、電力システムの安定化につながります。本蓄電所はこれらの役割を担うことで、再生可能エネルギーの導入拡大とこれによる温室効果ガスの削減を推進し、2030年のエネルギーミックスおよび2050年のカーボンニュートラル達成に貢献します。

なお、本事業の蓄電所建設工事開始に先立ち2025年3月27日に北海道札幌市内にて安全祈願祭を執り行い、事業関係者ならびに工事関係者ら約60名が出席し、無事故・無災害・高品質での工事完遂を祈願しました。

合同会社の概要

商号	北海道札幌蓄電合同会社	
所在地	香川県高松市	
代表社員	四電エンジニアリング株式会社	
事業内容	蓄電所の建設・運営 蓄電所を電力系統に接続し、余剰電力を充電・需要期に売電して収益を得る	
出資者の 役割	四電エンジニアリング株式会社	EPC、O&M技術支援、電力協議
	青木あすなろ建設株式会社	EPCのうち土木工事
	東日本旅客鉄道株式会社	電力取引結果の管理
	株式会社脱炭素化支援機構	資金調達の検討
	JR東日本エネルギー開発株式会社	電力取引結果の管理
	WWB株式会社	電力連系枠確保、電力協議、 用地取得に係る地域対応および行政対応
	株式会社中部プラントサービス	O&M技術支援
	株式会社三菱総合研究所	蓄電池運用計画の策定（MERSOL*の提供）
	株式会社GSユアサ	蓄電池の供給、蓄電池のメンテナンス

*蓄電池等の分散型エネルギーリソースの最適運用計画を策定するサービス

蓄電所の概要

蓄電所名	北海道札幌蓄電所
建設場所	北海道札幌市
出力	10MW
蓄電池容量	30MWh
運転開始時期	2027年4月（予定）

蓄電所イメージ図



(ご参考) 事業・投資スキーム図

